交付運用報告書

Asset Management One

グローバルドライブ（３ヵ月決算型）限定為替ヘッジ

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
当ファンドは、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。実質外貨建資産については、原則として米ドル売り／円買いの為替取引を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2026年２月19日～2026年８月18日

第49期	決算日：2026年５月18日
第50期	決算日：2026年８月18日

第50期末（2026年８月18日）	基準価額	10,094円
	純資産総額	170百万円
第49期～第50期	騰落率	4.4%
	分配金合計	150円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

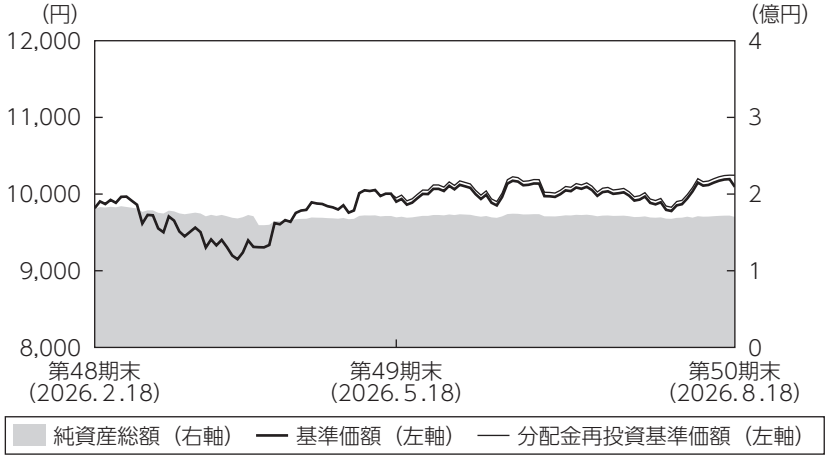
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　https://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

基準価額等の推移



第49期首：　9,817円
第50期末：　10,094円
（既払分配金150円）
騰 落 率：　4.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

グローバルドライブ・マザーファンドが主として組み入れている「ブラックロック・グローバル・ファンズ － グローバル・アロケーション・ファンド － クラスＸ（米ドル建て）」（以下、「アロケーション・ファンド」といいます。）の価格上昇を受けて、基準価額は上昇しました。一方、当ファンドは米ドル売り／円買いの為替取引を行っており、為替変動リスクは軽減されたものの、為替ヘッジコストが基準価額のマイナス要因となりました。

１万口当たりの費用明細

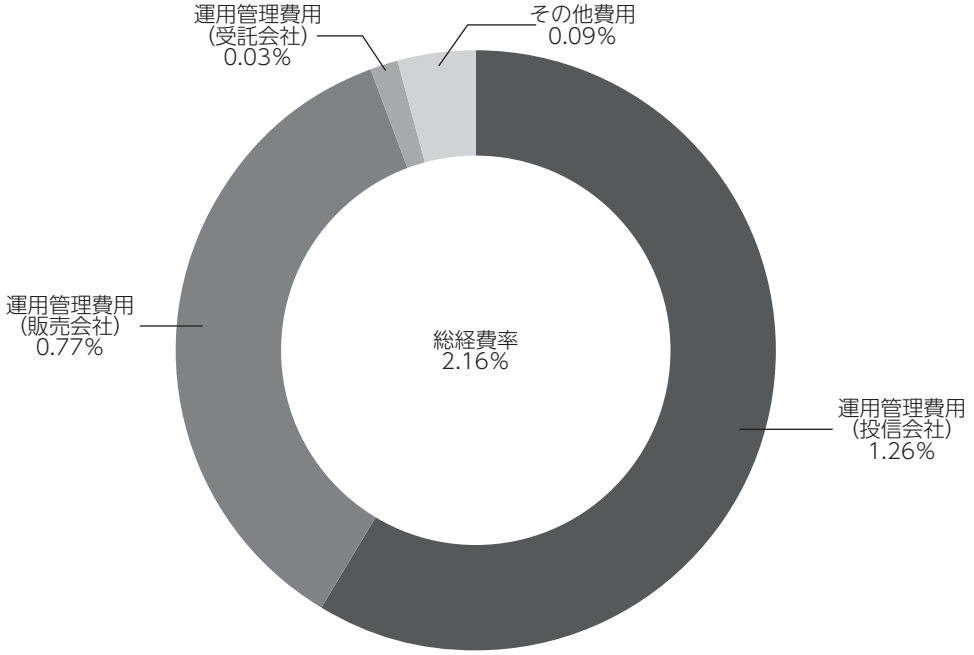
項目	第49期～第50期（2026年２月19日～2026年８月18日）		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	101円	1.026%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,848円です。
(投信会社)	(62)	(0.627)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(38)	(0.382)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	4	0.045	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(4)	(0.043)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	105	1.071	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

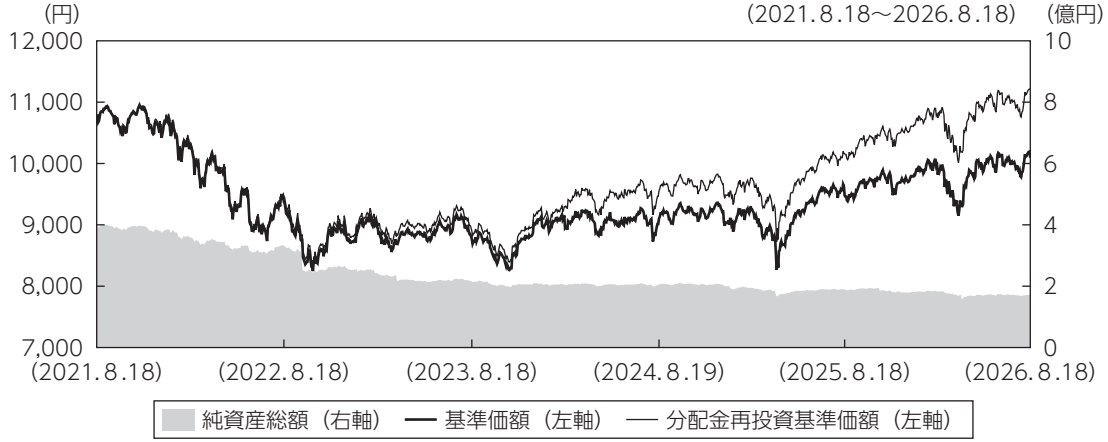
◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.16％です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）委託会社の信託報酬には、グローバルドライブ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド－クラスＸ」（以下「アロケーション・ファンド」といいます。）への投資の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社（ブラックロック・ジャパン株式会社）に対する報酬（当ファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの純資産総額に対して年率0.75％（税抜））が含まれます。
マザーファンドを通じて実質的に投資するアロケーション・ファンドでは直接の投資運用会社報酬などはありません。（ただし、当ファンドの委託会社であるアセットマネジメントＯｎｅ株式会社が受ける報酬から、マザーファンドの投資顧問会社であるブラックロック・ジャパン株式会社に投資顧問報酬が支払われます。そして、その投資顧問報酬から、アロケーション・ファンドの投資運用会社などへの報酬が支払われます。）アロケーション・ファンドの上記報酬制度は変更される場合があります。
（注５）総経費率の他に、マザーファンドを通じて実質的に投資するアロケーション・ファンドでは年率0.07％の運用管理費用以外の費用が発生しています。
（注６）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2021年８月18日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年8月18日 期首	2022年8月18日 決算日	2023年8月18日 決算日	2024年8月19日 決算日	2025年8月18日 決算日	2026年8月18日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	10,773	9,371	8,764	9,102	9,477	10,094
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	100	50	300	200	350
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	△12.1	△5.9	7.3	6.3	10.3
純資産総額　(百万円)	393	331	214	205	187	170

（注）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

世界主要国の株式市場は概ね上昇しました。米国では、２月末からのイランとの紛争を受けて原油価格が高騰したため、インフレ懸念などから下落しました。しかし、４月には和平交渉の進展期待などから上昇に転じ、その後も良好な米企業決算などを受けて堅調に推移し、作成期末を迎えました。欧州、日本も米国と同様に上昇しました。

世界主要国の債券市場は、下落（金利は上昇）しました。米国金利は、プライベートクレジットやイランとの紛争によるインフレへの懸念が強まったこと、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）による利上げ観測の高まりなどを受けて上昇しました。欧州金利もＥＣＢ（欧州中央銀行）の利上げなどを受けて上昇しました。国内金利も、日銀が利上げを行ったことなどから上昇しました。

為替市場では円は米ドルやユーロなど、幅広い通貨に対して下落しました。対米ドルでは作成期初から高市政権の積極財政への懸念や、中東情勢が緊迫化したことによる有事の米ドル買いなどを受けて円安基調で推移しました。作成期末にかけては日米通貨当局による協調介入などもあり、やや下げ幅を縮小しました。他の主要通貨に対しても同様の動きとなり、円安が進行しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

マザーファンドへの組入を高位に維持しました。また、米ドル売り／円買いの為替取引を行い、米ドル／円相場の変動による影響の軽減を図りました。

●グローバルドライブ・マザーファンド

主としてアロケーション・ファンドに、また、補助的な位置付けとして、短期米ドル債ＥＴＦに投資を行いました。作成期中はアロケーション・ファンドの組入比率を高位に維持しました。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目		第49期 2026年2月19日 ～2026年5月18日	第50期 2026年5月19日 ～2026年8月18日
当期分配金（税引前）		50円	100円
	対基準価額比率	0.50%	0.98%
	当期の収益	0円	0円
	当期の収益以外	49円	99円
翌期繰越分配対象額		679円	579円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、マザーファンドへの組入を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。また、米ドル売り／円買いの為替取引を行うことで、米ドル建て資産に対する為替変動リスクを軽減するよう調整します。

●グローバルドライブ・マザーファンド

引き続き、アロケーション・ファンドの組入比率を高位に維持し、世界各国の株式や債券などさまざまな資産への分散投資で得られる収益の獲得を目指します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

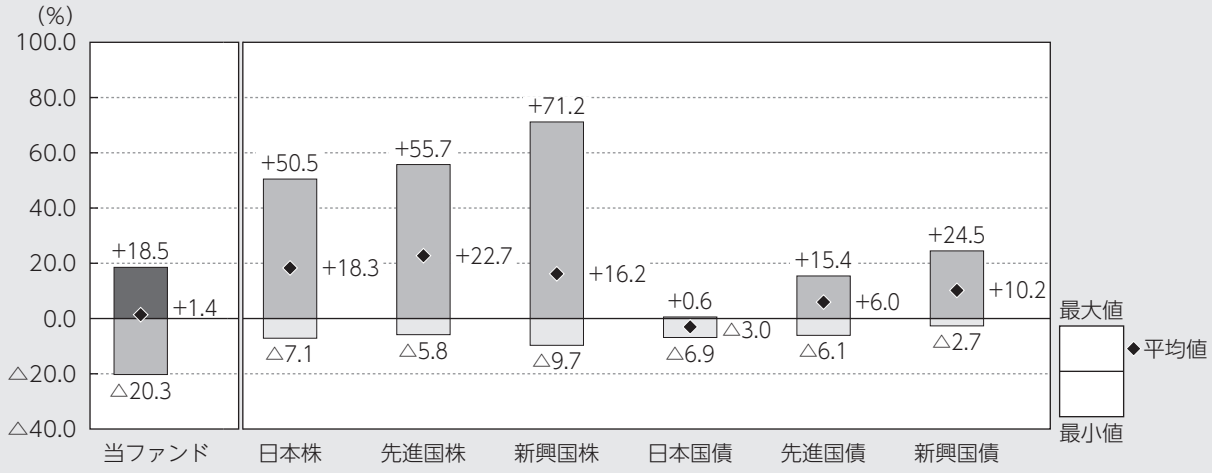
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバルドライブ・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年２月24日から2029年２月19日まで。	
運用方針	投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバルドライブ（３ヵ月決算型）限定為替ヘッジ	グローバルドライブ・マザーファンド受益証券。
	グローバルドライブ・マザーファンド	投資信託証券。
運用方法	グローバルドライブ・マザーファンドへの投資を通じて、主としてブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド－クラスＸ（以下「アロケーション・ファンド」といいます。）米ドル建投資証券に実質的な投資を行い、世界各国の様々な資産への分散投資と為替取引で得られる収益の獲得を目指します。加えて、短期米ドル建債券等を主要投資対象とする上場投資信託証券にも、実質的な投資を行います。アロケーション・ファンドの実質組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。実質外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて米ドル売り／円買いの為替取引を行います。 グローバルドライブ・マザーファンドにおけるアロケーション・ファンドへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年８月～2026年７月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

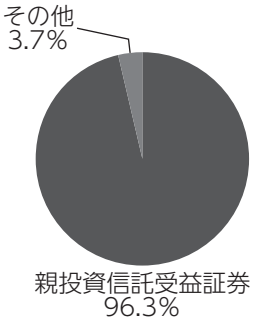
当ファンドの組入資産の内容（2026年８月18日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：１ファンド）

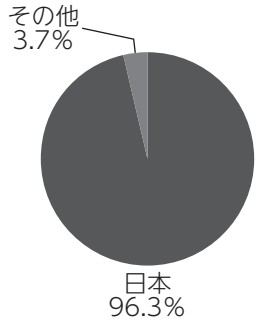
	第50期末
	2026年８月18日
グローバルドライブ・マザーファンド	96.3%
その他	3.7

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

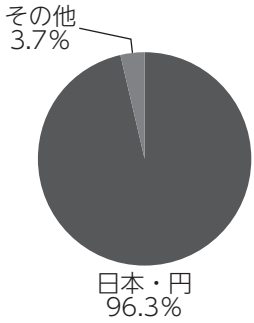
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。
（注３）実質外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて米ドル売り／円買いの為替取引を行っています。

純資産等

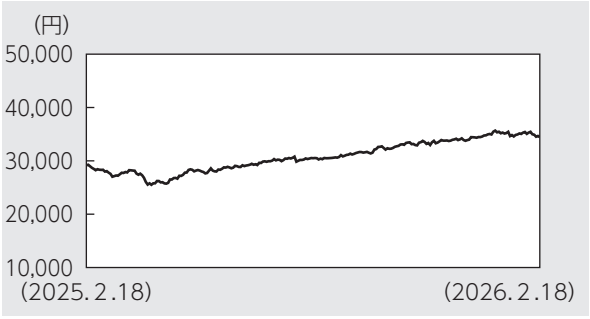
項目	第49期末	第50期末
	2026年５月18日	2026年８月18日
純資産総額	169,647,284円	170,232,182円
受益権総口数	171,342,317口	168,644,232口
1万口当たり基準価額	9,901円	10,094円

（注）当作成期間（第49期～第50期）中における追加設定元本額は834,236円、同解約元本額は16,529,216円です。

組入ファンドの概要

［グローバルドライブ・マザーファンド］（計算期間　2025年２月19日～2026年２月18日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ISHARES 0-1 YEAR TREASURY BOND ETF	アメリカ・ドル	0.2%
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
－	－	－
組入銘柄数	1銘柄	

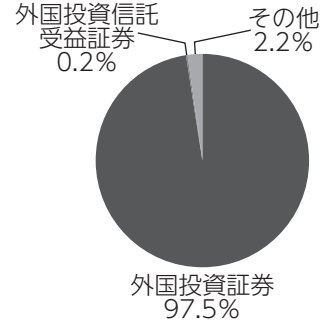
◆１万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.001%
(保管費用)	(0)	(0.001)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は30,792円です。		

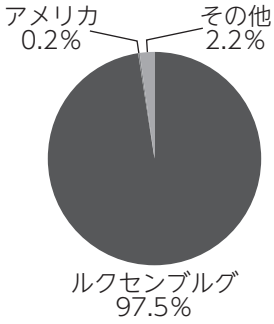
◆組入ファンド等　(組入ファンド数：１ファンド)

	当期末
	2026年２月18日
ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド－クラスＸ米ドル建投資証券	97.5%
その他	2.5

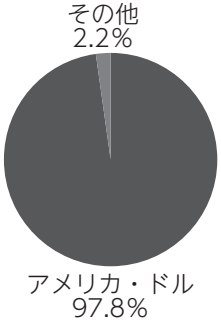
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

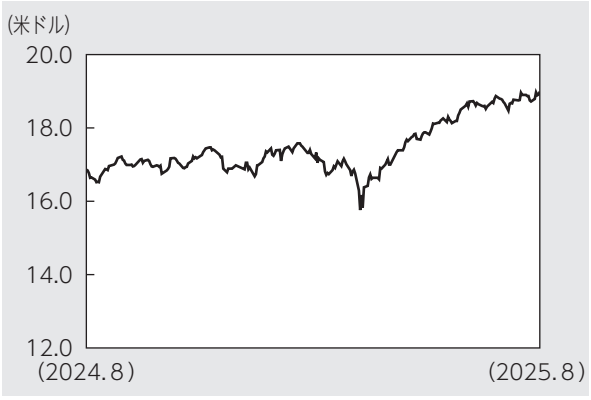


（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）「１万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注５）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
（注６）現金等はその他として表示しています。
（注７）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜ご参考＞

［ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド－クラスX米ドル建投資証券］（計算期間　2024年9月1日～2025年8月31日）

◆基準価額の推移



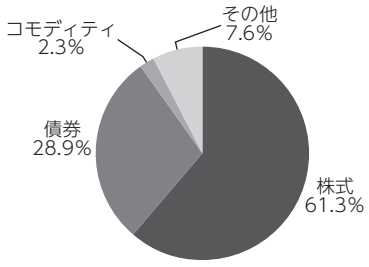
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	2.9%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	2.8
AMAZON COM INC	アメリカ・ドル	2.2
APPLE INC	アメリカ・ドル	2.0
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) REGS 2.3 02/15/2033	ユーロ	1.9
ALPHABET INC CLASS C	アメリカ・ドル	1.8
META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ・ドル	1.7
UK CONV GILT 1.25 07/22/2027	イギリス・ポンド	1.3
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	1.2
TREASURY NOTE 4.125 07/31/2028	アメリカ・ドル	1.2
組入銘柄数	2,888銘柄	

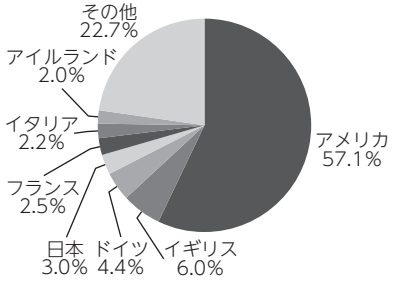
◆１万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

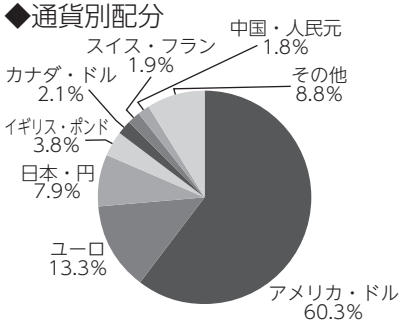
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移はブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド－クラスX米ドル建投資証券の計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
（注２）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
（注３）比率はブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
（注４）資産別配分、国別配分の現金等はその他として表示しています。
（注５）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
（注６）国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
（注７）通貨別配分は各通貨に現金等を含みます。
（注８）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、ブラックロック提供のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

（このページは白紙です）


Asset
Management
One